

## 学習者の声①

今回はすでに帰国の日も決まっている R I S L A N U S M A N さんにインタビューしました。

☆ご自身のことを話していただきました。

『インドネシア パル市出身です。首都ジャカルタから国内線に乗り換えて4時間からのスラウエシ島(旧セレベス島)に、パル市はあります。インドネシア語で話しますが、パル地方のパル語も話します。5人家族の末っ子です。父、母、姉、兄がいます。2002年3月来日、埼玉県で2ヶ月間、研修を受けました。その時、お世話になった方には、今でも電話をして近況を報告しています。2002年5月、港区の大阪鍍金(株)へ。以来、精密機械の部品の鍍金にたずさわっています。2002年12月、日本語検定試験(4級)を受験、合格しました。2003年12月、日本語検定試験(3級)を受験、合格しました。来日の目的は日本語を勉強して、日本語検定1級の資格を取り、インドネシアで日本語の教師になることでしたが、現在は、日本企業に就職することを考えています。今年の日本語検定試験は1級を受験します。2005年1月4日、日本を離れてインドネシアに帰ります。その後、ジャカルタで日

本企業の就職試験を受けます。現役学生や社会人など多くの人達がその試験には、挑戦しますが、私は、この3年間で習得した日本語や日本の文化、習慣などの経験を持っていきますので、頑張つて合格をめざします。その時は再来日することになるでしょう。』

☆日本語学習で感じたことは？

『そうですね、漢字の読み書きが難しいのと、助詞によって文の意味が違うこと、現在形、過去形、未来形の使い方ですね。』

☆市岡日本語教室はいかがでしたか？

『とても楽しかったです。多くの国の人たちと話すことができて本当によかったです。』

☆再来日は大阪だといひですね？

『うーん、ちよつとわからないですね。たぶん、大阪じゃないかも。』

2003年春、初めてリスランに会った時の印象は、すごく礼儀正しい人だなという感じでした。学習を始めるうちにとっても頑張りやさんであること、すべてに真面目に取り組むことなど感心することばかりでした。2003年の検定試験も本当によく頑張っていましたから、当然といえば当然のようですが、90%以上の高得点で合格しました。びっくりしました！2004年度は、2級を飛び越えて1級に挑戦すると

いうことで、4月から9班で猛勉強をしています。離日の日も決まっています。少し寂しい気がします。真面目で明るく、ちよつびり甘えん坊のリスランですが、目的を達して欲しいと応援しています。再来日の目的が大阪でないというのは、少し複雑な気分ですが『リスランの未来が今よりもHAPPYでありますように！』と祈りました。

山崎 久美子

## 学習者の声②

☆自己紹介からお願いします。

『アスワンです。ピチピチヤングの24歳、インドネシア南スラウエシ島から2002年4月に来日しました。日本製機(株)でエンジンバルブを作る仕事をしています。』

☆日本の印象は？

『初めに思ったのは、道が広い、高いビルが多いことです。あとは新幹線があるのが非常にすばらしく、春の桜もきれいですね。日本の女性は美しい人が多く、私の属する4班でも美人の先生が多くて皆優しいので、毎週楽しみにしてきています。』

☆今年10月15日から11月13日がラマダンの時期です。毎日朝4時半に起きてお祈りをします。お祈りは4時半、12時、2時、5時、6時の1日5回します。日が昇ってから日が落ちる5時半ぐらいまで、食べ物はもちろん水も飲めません。禁酒、禁煙、禁欲等様々な決まりがあります。ラマダン前とラマダン明けによく皆でパーティをします。今年も10月に市岡の先生たちとパーティをしました。中華料理がとてもおいしかったです。』

☆日本で好きなものは？

『食べ物焼肉が大好きです。アイドルでは私は面食いなので、モーニング娘の石川梨華が好きです。野球は阪神タイガーズが好きで、選手は赤星選手のファンですが、今年は残

☆今年検定2級を受けるので、合格したいです。』

坂本 亜希

## ボランティアリレーエッセイ第15回

人と人\*\*\*人と人の出会い程魅力的で

不思議なものはない。

8班班長 関 光春

私は数年前まで市岡日本語教室の存在さえ知らなかった。あるキッカケから、今はボランティアとして参加させてもらい、多くの人々との出会いを持つことができた。それに伴い、色々な方々とどのように接していくかが私の課題となった。

何分話し上手でない私が自分なりの方法をあみだし、

“食事をしながらおしゃべりをする方法を考え付き実行している”。人数が多いときには居酒屋風に少ないときは懐石風にと……。9月には娘の友人達(関西SLの皆さん、これはかつて関西の大学で視聴覚障害者の方、その方々をサポートする人々の同好会)11名が我が家に集い、昼から夜まで食事をしながら過ごした。年齢差のあるもの同志が、違和感なく楽しく過ごせるのも、やはり食事をすることで気持ちがリラックスするからではないかと思う。視聴覚障害者に対する接し方も幾らかは理解できてきた。

市岡の学習者の幾人かの方も我が家にお呼びしたことがある。日本に来て、寮の食事、コンビニの弁当等が多いとか。日本にはこんな食事の仕方もあることを知って欲しくて懐石風の料理を体験してもらった。中にはベジタリアン、宗教上の食事の規則など、食材に苦慮することもあったが、でもどれ一つとってもお互いに良い経験、思い出でありこの機会を持てたことを幸せに思う。これからも一層、人と人との出会いを楽しみにしている。

2学期は12月17日までです  
(学習者の人に各担当ボランティアが伝えて下さい)